

平成24年度「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」結果から見た本校の課題等

教育方針 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の掲げる教育目標については、保護者の共感を得ており、目標に向けての実践に対しても好意的に評価されているが、生徒へは十分に周知されているとはいえない。 ・生徒は入学できて良かったと思っており、保護者も子どもが喜んで通っていると感じている一方で、「一人一人のよさや可能性を伸ばす」という点において課題がある。
家庭との 連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からの文書は家庭まである程度届いており(保護者9割)、一斉配信メールについても保護者は有効に活用されていると感じている。 ・ホームページについては、情報内容、即時性について改善の余地がある。 ・保護者は、悩みや相談に適切に対応していないと感じており、保護者との関係性において課題があるといえる。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・「熱心に学習指導や生徒指導に取り組んでいる」(保護者-17%、生徒-15%)、「学校職員の電話の応答や挨拶が適切」(保護者-10%)、「悩みや相談に親切に応じている」(生徒-12%)、「授業内容に信頼できる」(生徒-13%)、などが昨年比で減少しており、教員への信頼度の低下が懸念され、大きな課題である。 ・授業をはじめ生徒指導、進路指導、部活動など学校生活のあらゆる場面で、生徒・保護者からの信頼度を高めるための真摯な教育実践が求められる。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる先生が多い」「先生方の専門知識が豊富で授業内容に満足ができる」「授業の教え方や説明がわかりやすい」については、昨年度よりもプラス評価を下げている。生徒の実態把握とともに授業改善への取り組みが急務の課題である。 ・一方、評価については各教科が実施している評価に対しては、評価基準や評価方法の説明不足を感じる。 ・個々の能力等に応じた指導をしているかについてはプラス評価が5割台である。幅広い学力差がみられる現状での大きな課題である。 ・習熟度授業や少人数授業が主に自然科学コースや理系の一部で実施されているため全体としての認知度は高くない。現在の教員数及び授業持ち時間数では限界があるが、幅広い学力差がみられる現状であるゆえに習熟度授業や少人数授業を拡充する必要を感じる。
生徒指導	<p>「学校は、高校生としてマナーや規範意識、高校生としてふさわしい頭髪、服装等の指導を行っている」等の2項目については、生徒の評価は昨年並みだが保護者の評価が上がっており、「生徒指導部通信」で学校の姿勢・指導方針を発信しているからではないかと思う。また逆に、教育相談体制、体罰等についてはまだまだ発信力が弱かったりするなど、充分理解されていない場合や、誤解を受けている場合もあるかもしれない。「交通安全・痴漢防止」等については評価は昨年よりやや下がっており、“大切な命”に関わる問題でもあるので、継続してさらに強化していきたい。</p>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路情報の提供」については進路説明会や進路相談などを実施し、進路資料室を整備し資料の所在を各クラスへ周知するなどしており、それなりの評価をいただいたと判断する。 ・「進路指導の有効性」について評価が昨年度と比べ低下傾向にあることについては、改善が必要であると判断する。今年度より新しい取り組みも幾つか実施しているが、理解がまだ浸透していないこと、効果が現れていないことなども考えられる。これに対しては、例えば、情報提供や指導の周知徹底を図るために、「さか草」のメール配信を実施する、「進路のてびき」を早期に作成し保護者用にも三者懇談会で配付するなどを検討中である。 ・保護者に比べ生徒の評価が低下していることに関しては、進路希望調査に併せて生徒向けアンケートを実施しその実態把握に努めたい。それを模試等のデータ分析と併せて進路指導部会で分析し、職員向け研修会や職員会議などで改善策を提案・検討する。これにより生徒の実態に即した指導の実現を図るとともに、職員の力量向上に努めたい。

健康管理 安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・5月にインフルエンザがやや流行した。流行する季節に向けて、手洗いやうがい、マスクを着用させる保健指導の充実を図る必要がある。 ・大震災から1年半が経ち、生徒の防災意識も希薄になりつつある。訓練のための訓練ではなく、これから起こりうる東南海地震、及び直下型の内陸地震に備えた防災避難訓練になるよう工夫し実施しなければならない。 ・交通事故や不審者対策等の安全指導については、学年、クラス等で指導を徹底し、保護者にも理解が得られるように工夫する必要がある。
学校行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動や学校行事に関して、生徒は概ね満足しているが(±0)保護者はいずれもプラス評価が減少している(-11%、-10%)。生徒から保護者へ学校での出来事がうまく伝わっていないということもあると思うが、本校の取り組みをさらにアピールしていく必要がある。 ・部活動と生徒会活動は生徒(-10%、-6%)保護者(-10%、-6%)ともプラス評価が減少している。いずれの活動も、取り組んでいる者とそうでない者の差が大きくなっているように思う。委員会活動などを広く行いたい。 ・ボランティア活動に関して保護者から不明という解答が相変わらず多い(35%)。保護者にまで活動内容を伝えることは難しいが、何かの折に伝える機会を作る必要がある。
学校独自 項目	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性(-15%、-10%)、意見や思いの取り入れ(-20%、-17%)とがいずれもプラス評価が減少している。桔梗祭前に行った調査ということもあると思うが、いろいろな場面で意見を聞き考えていく姿勢も必要かと思う。 ・「進路指導に関する専門的知識が豊富である」(生徒-11%、保護者-17%)についてプラス評価が減少した。保護者進学研修会や保護者懇談などで、タイムリーで利用価値が高い情報の発信を一層進めていく必要性がある。